

【オリコンサルがコンソーシアム参画 移動サービスで北部九州を「よかまち」へ】

移動サービスで北部九州を「よかまち」へ

オリコンサルがコンソーシアム参画

オリエンタルコンサルタンツは、グループ会社のリサーチアンドソリューション（福岡市、美濃部直樹社長）とともに、福岡県西部の糸島半島を始めとした北部九州での交通課題への対応・サービス提供を軸に地域活性化を図る「よかまちみらいプロジェクト」のコンソーシアムに主体企業として参画する。

同プロジェクトでは、取り組みの第1弾として、北部に豊富な観光資源を有し、中部には九州大学が位置する糸島半島でのオンデマンドバスやカーシェア、パーソナル・モビリティ×ワーケーション実証、電動レンタサイクルなど交通運輸事業を軸に、移動サービスを通じて「未来へ繋がるまちづくり」「よかまち」を目指す。

また、地域の魅力向上に貢献するため、観光資源の価値を最大化し、地域経済の活性化につながるインフラ・仕掛

けづくり、高齢者や移動困難者の生活の質を上げる利便性の高い移動の提供、地域全体の活性化・魅力向上に貢献できる未来を見据えたサービスの提供など、Maas（モビリティのサービス化）のモデル地域としていくことを目指している。

コンソーシアムは、昭和グループ（福岡市、金子直幹社長）を中核に、各種サービスの企画・開発・実践に取り組む主体企業37社と、サービス対象地域での取り組みを支援するエリアパートナー企業4社で構成。プロジェクトパートナーとして、福岡県や福岡市、糸島市、九州大学、トヨタ自動車とトヨタ・モビリティ基金など14の行政・団体・企業が連携・支援していく。